

第12回(2019年度)経営者「環境力」大賞

事務局

2月21日に開催を予定していましたが、2019年度経営者「環境力」大賞、顕彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら、中止することになりました。

そこで、ここでは例年のような報告はできませんが、今年度受賞者の皆様の受賞理由についてご紹介します。

第12回(2019年度)経営者「環境力」大賞受賞者(五十音順)

【大賞】	青山 裕史氏	油藤商事株式会社	代表取締役	(滋賀県豊郷町)
	堂上 勝己氏	梅南鋼材株式会社	代表取締役	(大阪府大阪市)
	永野 仁士氏	東阪電子機器株式会社	取締役 管理本部部長	(東京都渋谷区)
	村上 尊宣氏	株式会社エコファクトリー	代表取締役	(熊本県熊本市)
【奨励賞】	福寿 満希氏	株式会社LORANS	代表取締役	(東京都渋谷区)

【大賞】

青山 裕史 氏

(油藤商事株式会社 代表取締役)

- 家業継承当時から、自社事業が「排気ガスの原因となるガソリンや軽油を売り、洗車では大量の水や洗剤も使う、まさに環境負荷の大きい業種」ということに気づかれ、「ガソリンスタンドをまちのエコロジーステーションに」という思いから、様々な地域での環境活動を開始されるなど、早い時期から時代の流れをいち早く察知し、早々に取組みを開始した点。
- 琵琶湖を守るための市民活動とも連携し、自社に独自のバイオディーゼル燃料(BDF)精製器を設置し、廃食油リサイクル燃料を軽油に替わる燃料として販売し、地域の企業で使用するトラック・発電機・建設農業機械などに使用されるなど、エネルギーの地域循環を支えている点。
- 自社で所有するタンクローリー車を活用して、東日本大震災や熊本地震などの被災地に燃料油を運んだ経験を活かし、企業・自治体・NGOと協定を結び有事にいち早く対応できる体制を整えるなど、社会的責任を率先して果たしている点。

○近江商人の精神を受け継ぎ、ハンディを持った従業員には働く喜びを、資源ごみを回収することで客には利便性を、またそれが売り上げと、地域の資源の循環にもつながるといふ「三方よし」の商売を展開している点。

○ローカルなエネルギーを、ローカルで展開し、事業を大きくしすぎない勇気を持っている点。

堂上 勝己 氏

(梅南鋼材株式会社 代表取締役)

- 2010年にエコアクションの認証を取得し環境への取組みを早くから始め、環境への取組みは当たり前のこととして省エネや資源循環にも取り組んでおり、環境レポートも素晴らしいものを発行している点。
- 幹部社員と一緒に毎年事業戦略会議を行い、10年単位での中期ビジョンを構築し、それを各部門の計画や個人の目標に落とし込むようにしているなど、コツコツと堅実な経営を継続している点。
- 正社員の平均年齢28.8歳と若く、また「女性活躍リーディングカンパニー」認証取得するなど、社員を活かし、社員に愛され、

社員と共に成長する企業を目指すとともに、地域の高校生を雇用するなど、多様な人材を大切に育成している点。

- いたずらに業務拡大することなく、ありふれた業種の中で独自の価値観を押し出していくことで、独自の成長を探求している点は、これまでの大賞受賞者に通じる、事業を大きくしすぎない勇気を持っている点。
- 卸販売だけの事業に不安を感じた際には加工業にも事業拡大し、それ以降ファイバーレーザーなど常に業界の最先端技術を導入して経営の発展につなげている点。

永野 仁士 氏

(東阪電子機器株式会社 取締役)

- 中国はじめ海外へも進出し、他社との協業も進めているが、連携は自社のやりたいことのノウハウがあるかで判断するなど、決して短期的利益だけ求めるところとは組まず、先代の堅実な会社経営を継続し、「現状に胡坐をかくことなく、36年支えてくれた従業員と共に」という精神を引き継ぎ、中小企業の強みを生かした経営方針を継続している点。
- 自らの海外での現地体験から、外国人雇用を積極的に進め、彼らを労働力としてではなく、創造的な仕事を一緒にするパートナーと考えているなど、時代の潮流を先取りした点。
- 事業を大きくすることにはあまり興味はなく、働く人が頑張っって幸せになればいいが、その為にはモチベーションを高めることも必要として、ユニークな工夫をし、働く人の意欲を高め、それを業績に繋げている点。
- 自らの環境力を、「今ある環境を俯瞰的に情報としてとらえ、リーダーが一步踏み出すことが大切。そのベースはデータと第六感」とし、AI時代でも、新しいものを生み

出すのは人間であり、決めるのは人間というしっかりした経営理念を持っている点。

村上 尊宣 氏

(株式会社エコファクトリー 代表取締役)

- 温暖化への強い危機感から、エコ住宅の開発実用化の過程で特許を取得、さらに体感効果に直接的に作用する輻射熱効果に着目して発熱体エレメントを開発実用化するなど、常に科学を理解し、それを活かして新たな技術開発を行い経営につなげている点。
- 気候変動に対する意識は非常に高く、CO₂排出量最多の中国に合弁会社を設立し、アジアを中心とした事業展開を行うなど、気候変動時代を先取りした、情熱ある事業展開をしている点。
- 働くことは人生そのものという考えで、大きな分掌権限を従業員に与えることで責任感と連帯感を感じてもらおう工夫、それと併せて、従業員の大きな支えとなる家族を大切にしている雇用体系の充実にも取り組んでいる点。
- 「拡大だけが成長ではなく、事業の本質を磨き高める努力の成果のみが時代の変化に耐えうる」という信念を持ち、従業員、全国約50社の設備代理店、顧客を大切に、地に足の着いた業務の積み重ねと新たな技術開発を経営の発展につなげるという経営理念を持っている点。

【奨励賞】

福寿 満希 氏

(株式会社LORANS. 代表取締役)

若くして独立し、社会的課題に取り組む姿勢は素晴らしいものの、「環境力大賞」としては、もう少し、「環境」を意識した活動が欲しく、今後、さらに視野を広げた活動に期待。